

第5期（2020年度）事業報告

1. 法人運営

2020年度の活動

日程	活動内容
4月	コミュニティゲート休館（22日～5月25日）
5月	オンライントークイベント（20日・31日） ズリ山整備（30日）
6月	清水沢アートパワープラント（6月～10月） こども食堂（7日） 北海学園大学オンラインレクチャー（16日） 社員総会（オンライン併用）（20日） ズリ山草刈（26日） 清水沢まちあるき（27日）
7月	鈴木菜々子さん滞在（1日～3日） 会員滞在（10日・11日） 清水沢まちあるき（25日）
8月	清水沢まちあるき（22日） 北海学園大学夕張研修（24日） ハルニレプロジェクト寄付募集（27日～約1ヵ月）
9月	オンライントークイベント（11日） 鈴木菜々子さん滞在（13日～12月） シニアフォトキャラバン滞在（17日～10月8日） 清水沢まちあるき（26日）
10月	清水沢まちあるき（24日） 夕張中1年生総合学習対応（29日）
11月	夕張まちじゅうこども食堂事業受託（～3月） 清水沢まちあるき（28日）
12月	宮前町イルミネーション手直し（13日） 法政大学オンラインレクチャー（15日） こども食堂ケーキ宅配便（19日） 宮前浴場のれんプリント（25日） 清水沢まちあるき（26日）
1月	アバディーンエコミュージアムプロジェクト（1月～） 生活支援コーディネーター研修オンライン講義（19日） 清水沢まちあるき（23日） 新夕張駅展覧会「夕張駅・三代」（31日～）
2月	開発局北海道価値創造力の強化に向けた地域づくり団体WEBミーティング（25日） 清水沢まちあるき（27日） 鈴木菜々子帰郷ライブ配信（28日）

日程	活動内容
3月	開発協会助成金報告会（19日・札幌） 清水沢まちあるき（27日） 地域おこし協力隊支援業務プロポーザル（29日）

※4月・5月の清水沢まちあるきは緊急事態宣言発出のため中止

昨年年始からの新型コロナウイルス感染症の拡大により、私達は誰も経験したことのない変化の渦中にいます。人の動きを生まない、集まりを生まないという制約がありながらも、手厚い支援金の支給もあり、皮肉なことでありますが法人の運営は5期目にして最も安定した状態です。予算策定時には計画していなかった助成金の獲得（J-coin基金助成130万円）、夕張市まちじゅうこども食堂事業（一般競争入札で151万円）があり、またハルニレプロジェクトの寄付金も合わせると、合計で745万円の経常収益となりました。新たな分野への挑戦が多かった一方で、じっくり腰を据えて取り組もうとしていた計画事業の多くに着手できなかったのは反省点です。

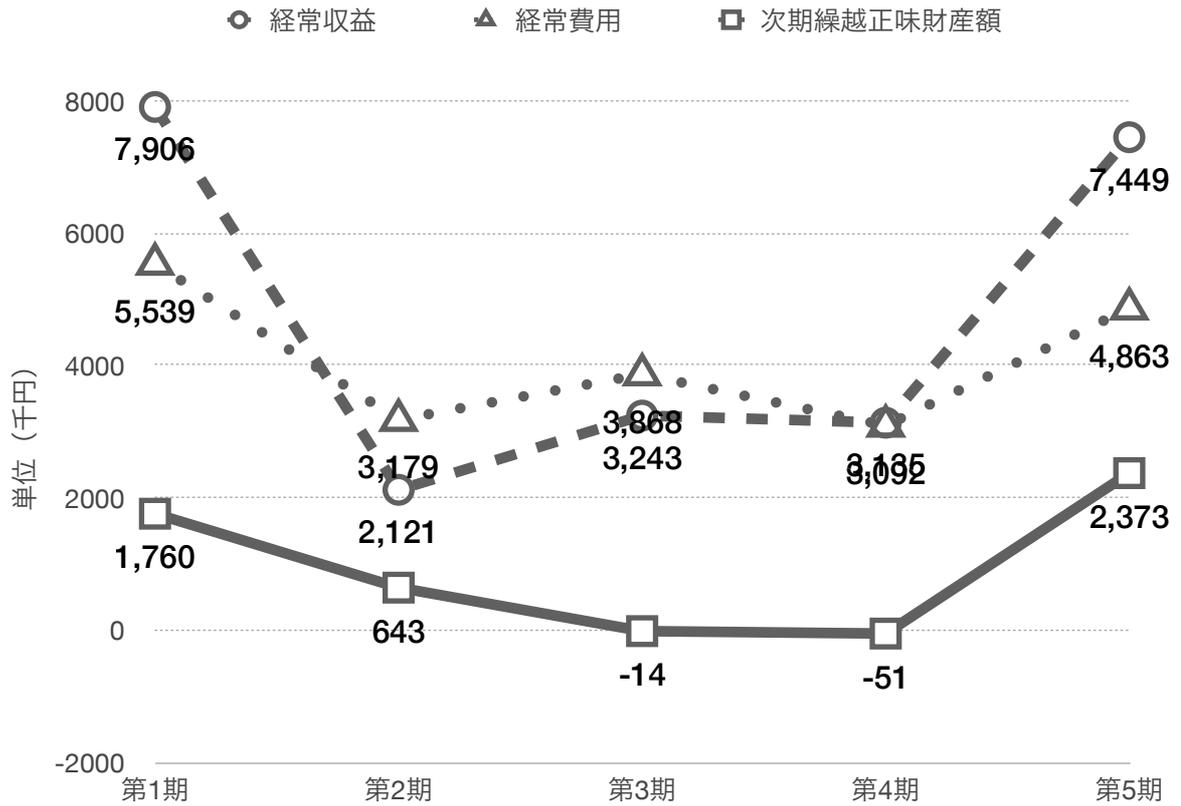
新規入会は正会員1名、一般会員3名、賛助会員1組増加し、3月31日現在正会員12名、一般会員27名、賛助会員6組、合計45名・社・団体となっています。

経常費用については予算に含まれていない事業実施により大幅に増加しましたが、237万円を次期に繰り越すことができました。課税対象の収益事業の正味財産増減額は67万円となりましたが、過年度の欠損金（赤字）の繰越控除により、法人税は発生しませんでした。毎年懸案事項であった車両費（ガソリン代）や支払手数料（Adobeライセンス）を代表理事が肩代わりしていた状態を解消したため、大幅な増加となっています。備品の更新時期を迎えていたこともあり、今期いただいた夕張市黄色いハンカチ基金助成の金丸妙子さんからの指定寄付（69.8万円）とJ-coin基金助成でMacBook Pro、iPad Pro、A3対応のページプリンター等購入させていただきました。なお黄色いハンカチ基金はコミュニティゲートの光熱水道費・通信費を、J-coin基金は後述の各プロジェクトの他に人件費、車両費等にも使用させていただきました。

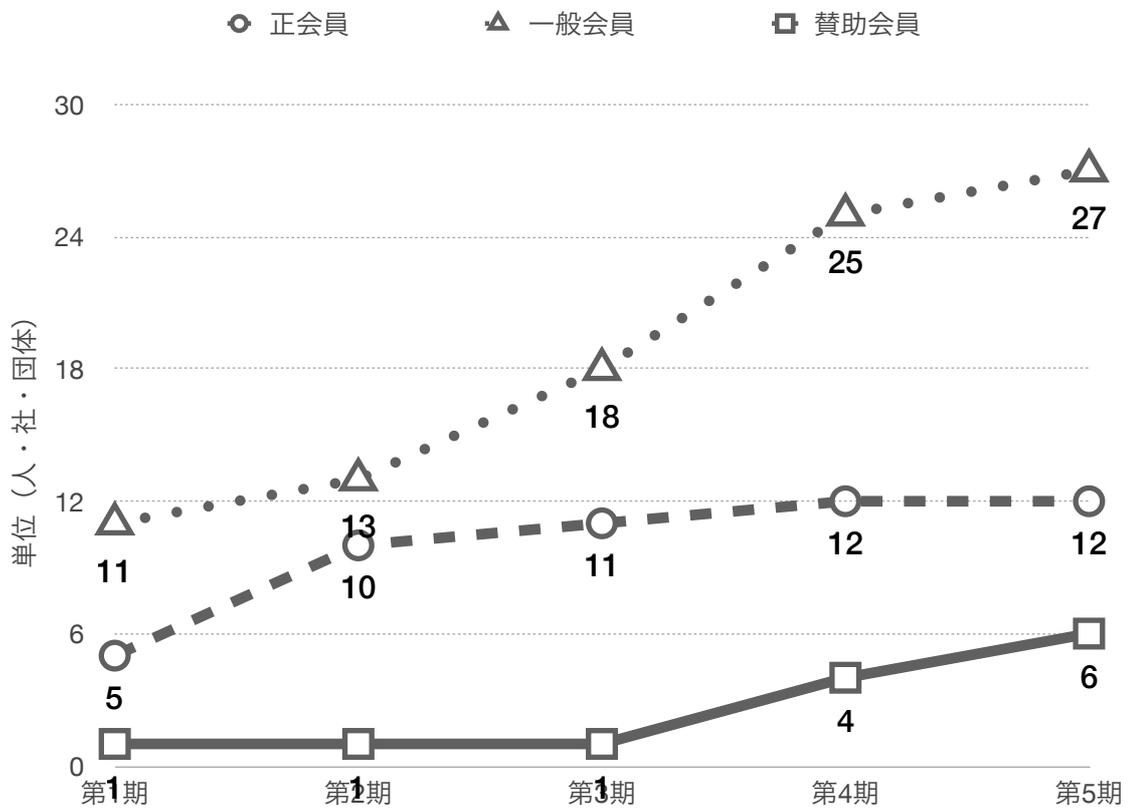
決算処理を依頼している山田一成税理士とは、過年度の法人税の確定申告書類が不完全で、持続化給付金の申請時にトラブルがありました。しかし今後の会計処理業務が増加することもあり顧問契約を再打診したところ、難色を示されたので、年末調整の処理をもって依頼を終了することにしました。そこで新たに3月から、東京の税理士法人Blue Works Tax（担当・山崎隆行税理士）と顧問契約（月額1.1万円、決算11万円）を行いました。労務関係のサポートをしていただけるので、大変心強いです。なお「申告期限の延長の特例」の申請を行ったため、今期より5月末日に法人税を見込み納付し、確定申告は社員総会で決算承認を頂いた後に行いました。

5年間を振り返って

一般社団法人清水沢プロジェクトは、2016年5月13日に設立し、5期目が終了したことになります。この5年を数値で振り返ってみると、2016年（第1期）の節税失敗、受託事業のあった2018年（第3期）に経費圧縮を失敗するなど、素人経営ぶりには目を覆いたくなります。清水沢アートパワープラントを有料化した2018年（第3期）からは収入が上向きになり、助成金も獲得できるようになり、2019年（第4期）には節約の成果もありなんとか収支が均衡するまでになりました。2020年



経常収益・経常費用・繰越正味財産額の推移



会員数の推移

(第5期)には、ようやく非営利型法人のメリットである収益事業と非営利事業を意識した運営ができるようになり、受託事業から収益を得ることができました。

会員数をみると、おかげさまで順調に成長しています。しかし、2020年は伸び悩み、正会員については2017年(第2期)以降頭打ち状態です。退会者も年1~2名と、まったくないわけではありません。会員の皆様の思いを実現する組織であり、参加の意義を実感できる組織として成長を目指していくとともに、共感を力に変えるために会員数の増加に努めていきたいと思っております。

各事業の報告

(1) 炭鉱遺産の保存・活用・普及啓蒙・学術教育・調査研究に関する事業

旧発電所(清水沢アートパワープラント)

緊急事態宣言のため例年より半月公開を遅らせ、6月1日~10月31日の期間で公開しました。受付を屋外で行う、トランシーバーを活用しガイドとお客様は同乗しないなど徹底的な感染防止対策を行い、元より来訪者数が少なくなることを見越して、見学コースを1日2回週4回、個人的な撮影コースを週1回と祝日のみの設定とし、スタッフ1名で対応できる体制で実施しました。ほとんどの期間で道外からの見学を中止したこともあり、見学コース49組90名、個人的な撮影コース13組25名、団体1件(夕張中学校5名)、ほか商用利用が3件、見学総数140名でした。個人の見学者は去年の4割程度でしたが、一昨年は6割が道外の方だったため、道内に限れば見学者数は減らなかったことになります。もともと「1対1」で実施していた清水沢アートパワープラントの見学事業のあり方は、先進的であったと実感しました。

ズリ山

今年から熱中症予防と訪れる人が増える前の5月に作業を行うことにし、30日に8名で作業を行いました。最高気温が30℃に達する大変暑い日でした。その後6月26日にさつき町内会のみなさんと草刈りを行いました。園遊会が中止となり、町内会のみなさんと接する機会がなかったのが残念です。今年の整備にもNPO法人あ・りーさだから木材を、東亜建材工業株式会社から鉄杭の提供をいただきました。

JR新夕張駅展覧会

1年9ヶ月ぶりに展示替えを行い、1月31日より「夕張駅・三代一時代とともに動いてきた駅一」を始めました。過去に存在した3代の夕張駅にフォーカスを当て、まちの変遷に合わせて位置を移動した鉄道駅の役割や、現在の新夕張駅が今後の夕張のヒト・モノの結節点として重要な役割を担っていることに思いを馳せていただくことを狙い、企画しました。

展示写真はFacebookグループ「北海道夕張市ゆかりの会」や、「みんなで作る夕張の記憶ミュージアム」に寄せていただいた、一般の方の写真です。記憶ミュージアムの写真がメインとなる現実空間での展示は初となります。

その他の炭鉱遺産・関係箇所

コロナ禍の影響を受け、個人ガイドは1件もありませんでした。団体も、毎年夕張でフィールドワークを行う北海学園大学1団体のみでした。「宮前浴場利用増加プロジェクト」についても大々的には実施しませんでした。

(2) 地域資源の価値発見、活用による交流人口の増大に関する事業

2015年5月に始めた清水沢まちあるきは、5月で5周年を迎えるはずでしたが、4・5月は緊急事態宣言期間中となったため、中止としました。

コミュニティゲートに縁のあるアーティストの救済企画として、オンラインアーティスト・トーク「わたしたちの対話はどこへ行くのか」を3回開催しました。平野出張写真館（5月20日）、菊池史子さん（31日）、メイボン尚子さん（9月11日）とオンラインでつなぎ、現在の状況と夕張での活動などについて対話を行い、参加費は経費を除いて平野出張写真館に22,350円、菊池史子さんに13,625円、メイボン尚子さんに13,575円、それぞれ少額ですがギャラとして支払いました。

みんなで作る夕張の記憶ミュージアム

収益を生まない事業のため後回しにしがちですが、今回は助成金で人件費を充て、わずかですが新たにお借りした写真のスキャンやデータベース内の整理など作業を進めました。現在は5000枚ほど所蔵しています。先に述べた新夕張駅展覧会も、記憶ミュージアムの写真を一部使用しています。空知総合振興局が実施した写真アーカイブ事業に写真の提供依頼がありましたが、継続してアップデートされるかどうか見極める必要があると思います、接続は見送りました。

<https://yubarinokioku.net/>

アバディーン//夕張プログラム

アバディーンからオーバンに引っ越したメイボン尚子さんが、なおもトリー地区との縁をつないでくださっています。清水沢エコミュージアムの理念に共感したデイビッド・フライヤーさん（オールド・トリー・コミュニティ・センター運営）を中心に助成金を得て、「トリーエコミュージアムプロジェクト」がスタートしました。清水沢プロジェクトはJ-coin基金助成を活用して尚子さんとトリー地区と夕張の人々を紹介し合う「Torry-Yubari Exchange」を実施中です。

https://www.instagram.com/torry_yubari/

(3) 炭鉱遺産・地域資源の価値増大に資する施設等の運営事業

夕張市と締結した「清水沢エコミュージアムプロジェクトに係る連携協定」の5年度目となり、「旧宮コ23棟」施設の無償貸与を受け、「清水沢コミュニティゲート」として、運営を行いました。

4月22日から5月25日までの期間、北海道からの休業要請に従い、貸会議室・多目的ホールにあたる清水沢コミュニティゲートは営業を自粛しました。再開後も、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、清水沢プロジェクトらしく活動するために様々に知恵を絞りました。もともとが炭鉱住宅のコミュニティゲートは狭く、密を避けられない構造です。来訪者を施設内に入れることをなるべく避けるため、屋外にタープテントを設置し、旧北炭清水沢火力発電所の見学事業「清水沢アートパワープラント」の見学者の受付や来客対応は屋外で行いました。地域の人々からも丸見えになることで、地域外からの来訪者が訪れることへの不安を多少なりとも減少させることができましたと思います。

滞在者の受け入れも、秋以降に2組実施することができました。いずれも道外からの来訪者だったため、「施設内あるいは道内で2週間待機した上で活動してもらう」ことを義務付けました。健康状態に問題が無いことが確認できている人であれば、地域の一人として活動することを妨げる理由はないと判断したからです。散歩や買物など日常に必要な行動は許可するものの、人と会う活動は行わないという厳しい行動の制約に従い、素晴らしい成果を残した2組には大変感謝しています。

9月～10月にかけて約3週間滞在したシニアフォトキャラバンは、5年間の活動の総括となる展覧会を夕張市拠点複合施設りすたで開催しました。この滞在にあたりJ-coin基金助成を活用し、20万円の活動助成と施設利用料を無料とするサポートを行いました。展覧会計画を数度提出していただき、清水沢プロジェクトのメンバーで助言を行い、会期中のサポートも実施しました。

9月から12月にかけて、愛知県立芸術大学の鈴木菜々子さんが滞在し、卒業制作「夕張色のテキスタイル」を行いました。鈴木さんは夕張出身で小学2年生まで暮らした故郷夕張と向き合い、デザイナーが地域で何ができるかを探る参与観察を行いました。アルバイト（オンライン）の関係で札幌の実家と行ったり来たりで、常に滞在していたわけではありませんが、滞在中は在夕メンバーが手厚くサポートしました。鈴木さんは市民にも大変良く受け入れてもらい大きな成果を残し、首席で卒業しました。夕張っ子の挑戦を支えられたことを、誇りに思います。鈴木さんには初めて滞在利用に学割（1日1,000円）を適用しました。

施設の運営経費は、年々コストカットを進め、今回はまちじゅう子ども食堂事業でスタッフ雇用があったにも関わらず、30万円を切ることができました。昨年度から浄化槽使用料を免除していただいていることと、Loopoでんきで基本料金がなくなったことが大きいです。滞在者、特に電気使用量が増える冬場の滞在者がほとんどいなかったことに加え、まちじゅう子ども食堂事業で使用していた1号室のほうがトイレの暖房効率がよいなどの要因も重なりました。

夏場は不定期開館、冬場は月・水・金・土の週4日開館としていますが、事前に予約することを推奨している状態です。狭い空間であることから施設のPRにも消極的になってしまっている状態から脱却するために、一層の努力が必要です。

コミュニティゲート利用実績（滞在利用・オフィス利用・こども食堂）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数 (件)	1	1	2	3	1	3	3	2	2	1	1	1	21
収入 (円)	0	0	5,000	3,300	0	0	5,000	0	30,250	0	0	0	43,550
前年件数 (件)	1	2	2	4	3	2	3	1	2	2	2	2	26
前年収入 (円)	0	9,900	9,900	89,820	9,900	9,900	16,550	11,550	13,500	5,000	85,250	1,100	262,370

水道光熱費比較表

2020年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電気	4,738	3,824	3,871	4,906	4,916	4,165	4,930	3,589	5,918	9,335	5,453	5,273	60,918
水道	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	121,920
浄化槽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
灯油・ガス	5364	4,796	4,796	4,796	7,506	4,796	4,796	7,506	5,089	16,943	17,666	4,796	88,850
2019年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電気	11,460	7,112	7,004	7,692	8,528	7,463	6,843	6,465	7,219	5,559	6,567	7,477	89,389
水道	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	10,160	10,160	120,080
浄化槽	2,800	2,800	2,800	2,800	0	0	0	0	0	0	0	0	11,200
灯油・ガス	5,264	30,657	4,802	5,554	5,173	6,094	6,187	5,262	5,653	5,939	22,960	5,481	109,026

(4) (1)～(3)各号に関する活動を目的とした来訪者の受け入れ、情報提供、支援に関する事業

「エコミュージアムプロジェクトの推進」として取得した助成金も、狭義のエコミュージアム事業に当てたのはズリ山の看板更新のみで、懸案事項であるパンフレットの改訂がなかなか進みませんでした。動画による紹介やGoogle Mapを使った疑似AR（拡張現実）についても、人の動きが少ないことを理由に着手できていません。

(5) 地域活動の活性化支援事業

実行委員会が主催する「こども食堂」は、食材の寄付があったこともあり、6月7日（日）に予約制・屋外で「うちのひととホタテミルクシチュー」開催しました。しかし実現できたのはその1回で、11月に開催された「ゆうばりっこ詩と言葉のコンクール」参加者を対象にした、こども忘年会に

代わる「ケーキ宅配便」を、12月19日（土）にサンタとトナカイの扮装で行いました。2月には宮前町のパチンコパーラーハビンさんから、「コミュニティゲートのこども食堂に来る子どもたちにプレゼントしたい」と景品のお菓子の寄贈の打診がありましたが、現在はこども食堂を実施できていないことから、再開までくれよん会の子どもたちにプレゼントしてもらっています。

(6) 地域情報の受発信、物販に関する事業

目立った新商品もなく、清水沢アートパワープラントの来場者の方をコミュニティゲート内部に招き入れなかったこともあり、物販が昨年比10分の1と、全く振るいませんでした。

毎年12月に新作を制作している清水沢プロジェクトのポストカードは、宮前浴場をモチーフに制作しました。アーカイブ記録誌については着手できていません。

(8) 地域資源を活用したまちづくりに関するコンサルティング・シンクタンク事業

教育機関の訪問がほとんどなかった代わりに、オンラインレクチャーの依頼を何回か受けました。地理的に不利でも、オンラインならどこからでも声をかけていただけるのはありがたいことでした。まちづくりについて考える連続レクチャーを構想していましたが、実現できていません。

(9) 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

ハルニレプロジェクト・Yubari WOOD START プロジェクト・森の輪（わっこ）

当初の計画では木の玉プールや積み木等の制作を想定していましたが、子どもたちの安心安全と管理側の負担軽減について検討した結果、制作する遊具を「記念オブジェを兼ねた木製すべり台」としました。夕張市内在住の美術家・櫻井亮さんに30万円で制作を依頼し、清水沢プロジェクトがJ-coin基金助成から10万円を拠出した上で、このプロジェクトに思いを寄せる方々のお気持ちを表すものにするため、「寄付を募る」という形で制作費を募りました。8月27日から目標金額20万円、目標に達しない場合でも自己資金で制作を行うとして募集を開始したところ、48名から544,900円ものご寄付をいただくことができました。しかし、思うように木の水分が抜けないなど制作が難航し、開園の2021年4月に間に合わせることはできませんでした。寄付者のみなさまにはその都度お知らせのお手紙をお送りし、状況を報告しています。完成したら、ゆうばり丘の上こども園を運営する社会福祉法人夕張保育協会へ寄贈します。

森の輪は、向こう3年分をまかなえる数を一度に制作することとし、制作費用のうち10万円を清水沢プロジェクトが負担、残りの4万円をハルニレプロジェクトの寄付から取り崩して充てました。なお札幌大谷短期大学に移られた馬場先生からは、向こう3年分納入が必要となる森の輪プロジェクト事務局への事業管理費分として、9万円のご寄付をいただきました。

夕張まちじゅうこども食堂事業

本事業は、新型コロナウイルス感染症の影響で増加している子育て負担を軽減し、売上が減少している飲食店等を支援する夕張市の事業です。当法人は「夕張こども食堂」を実行委と共催している経緯もあり、子どもたちにとって「家族とあの店に食べに行ったね」という食の原風景を作るために、事業に挑戦する意義があると考え、10月28日に一般競争入札で落札し、実施に至りました。本事業の実施のためにアルバイトスタッフを4名を雇用し（短期雇用を含む）、営業担当、デザイン担当等分掌して業務を行いました。チケットの使用期間は12月から3月20日までの約4ヵ月で、市内22店舗が参加、最終的なチケットの使用枚数は976枚（全体の87.9%）とまずまずの結果でした。飲食店のみなさんとのご縁も生まれ、関わったスタッフもそれぞれ得るものがあったようです。ミスやトラブルなくやりきったことに安堵しています。

第5期（2020年度）決算

貸借対照表

2021年3月31日現在

一般社団法人清水沢プロジェクト(事業全体)

単位:円

資産の部		負債の部	
科 目	金額	科 目	金額
流動資産		流動負債	
現金預金	1,475,966	未払金	799,837
売掛金	1,517,370	未払費用	1,660
前払金	397	未払法人税等	80,000
預け金	280,000	預り金	18,453
流動資産合計	3,273,733	流動負債合計	899,950
		負債合計	899,950
		正味財産の部	
		科 目	金額
		一般正味財産	
		前期正味財産	△ 51,827
		当期正味財産増減額	2,425,610
		正味財産合計	2,373,783
資産合計	3,273,733	負債及び正味財産合計	3,273,733

正味財産増減計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位：円)

科目	収益事業	非営利事業	合計
経常増減の部			
経常収益			
正会員受取会費		120,000	120,000
一般会員受取会費		69,000	69,000
賛助会員受取会費		70,000	70,000
受取寄附金		667,459	667,459
受取助成金		1,998,000	1,998,000
売上高	2,005,182	19,600	2,024,782
雑収入	1,012,847	1,487,088	2,499,935
受取利息収入	6	10	16
	3,018,035	4,431,157	7,449,192
経常費用			
仕入高	26,354	0	26,354
役員報酬	447,285	656,715	1,104,000
給料手当	454,943	0	454,943
法定福利費	74,410	106,224	180,634
福利厚生費	3,975	5,836	9,811
租税公課	1,385	565	1,950
水道光熱費	188,485	97,288	285,773
諸会費	9,318	13,682	23,000
荷造運賃	1,386		1,386
車両費	102,296	150,193	252,489
支払報酬料	98,445	71,788	170,233
旅費交通費	502	738	1,240
雑費	456	669	1,125
雑給	2,026	2,974	5,000
交際費	14,616	21,459	36,075
研修費	446	654	1,100
外注費	4,051	716,949	721,000
広告宣伝費	50,949	47,202	98,151
会議費	63,027	24,217	87,244
通信費	91,190	98,888	190,078
消耗品費	363,653	231,552	595,205
新聞図書費	16,189	27,729	43,918
支払手数料	81,769	69,566	151,335
保険料	31,876	48,002	79,878
減価償却費	218,121	123,539	341,660
経常費用計	2,347,153	2,516,429	4,863,582
法人税、住民税及び事業税	0	160,000	160,000
当期正味財産増減額	670,882	1,754,728	2,425,610
前期繰越正味財産額	13,167	△ 64,994	△ 51,827
次期繰越正味財産額	684,049	1,689,734	2,373,783

2020年度収支決算（部門別内訳）

2020年4月1日から2021年3月31日まで

科目	決算額		内訳								備考	
			1炭鉱遺産の保存・活用・普及啓蒙・学術教育・調査研究に関する事業	2地域資源の価値発見、活用による交流人口の増大に関する事業	3炭鉱遺産・地域資源の価値増大に資する施設等の運営事業	4上記各号に関する活動を実施した来訪者の受け入れ、情報提供、支援に関する事業	5地域活動の活性化支援事業	6地域情報の受発信、物販に関する事業	7喫茶・飲食事業	8地域資源を活用したまちづくりに関するコンサルティング・シンクタンク事業		9前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
経常増減の部												
経常収益												
正会員受取会費	120,000										120,000	
一般会員受取会費	69,000										69,000	
賛助会員受取会費	70,000										70,000	
受取寄附金	667,459	25,389								639,900	2,170	ハルニレプロジェクト寄付金
受取助成金	1,998,000										1,998,000	
売上高	2,024,782	326,740	59,900	43,550		3,300	26,250	0	50,000	1,515,042		持続化給付金、道支援金、市給付金
雑収入	2,499,935										2,499,935	
受取利息	16										16	
経常収益計	7,449,192	352,129	59,900	43,550	0	3,300	26,250	0	50,000	2,154,942	4,759,121	
経常費用												
役員報酬	1,104,000										1,104,000	
給料手当	454,943									454,943		まちじゅう子ども食堂事業
法定福利費	180,634										180,634	
福利厚生費	9,811										9,811	
租税公課	1,950									1,000	950	
水道光熱費	285,773			285,773								
諸会費	23,000					11,000					12,000	三菱大夕張鉄道保存会、日本エコミュージアム研究会、町内会、夕張市観光プロモーション
荷造運賃	1,386						1,386					
車両費	252,489										252,489	
支払報酬料	170,233		49,550								120,683	トークイベントギャラ、税理士等
旅費交通費	1,240										1,240	
雑費	27,479						26,354				1,125	
雑給	5,000										5,000	
交際費	36,075										36,075	祝花、供花、香典等
研修費	1,100	1,100										
外注費	721,000		260,000							461,000		森の輪、ハルニレプロジェクト、アーティスト助成
広告宣伝費	98,151	6,875		40,791	11,127			6,938		11,520	20,900	町内会費・三菱大夕張鉄道保存会・ユウパニコザクラの会・東京夕張会
会議費	87,244	12,257	8,334	3,250		1,000				40,852	21,551	まちじゅうこども食堂取材費等
通信費	190,078	850		140,699							33,878	14,651
消耗品費	595,205	133,330	18,686	80,493		1,860				104,393	256,443	プリンター・トナー等
新聞図書費	43,918		4,960								38,958	
支払手数料	151,335	4,764	8,510					619		24,641	112,801	各種サービス（北洋銀行、Adobe、経理、Zoom等）含む
保険料	79,878	1,200									78,678	スポーツ安全保険等年度末に次年度分支払い
減価償却費	341,660										341,660	
経常費用 計	4,863,582	160,376	350,040	551,006	11,127	13,860	35,297	0	0	1,132,227	2,609,649	
法人税、住民税及び等	160,000											
当期正味財産増減額	2,425,610											
前期繰越正味財産額	△ 51,827											
次期繰越正味財産額	2,373,783											

(単位 円)